

経営協議会（平成18年度第3回）議事要旨

1. 日 時 平成 19 年 3 月 22 日（木）15:00～17:00

2. 場 所 ホテル日航奈良「羽衣」

3. 出席者 安田学長（議長）
山本理事、磯貝理事、五十嵐理事、村井理事
田中委員、三木委員

欠席者 江口委員、相磯委員、新本委員

出席監事 岩淵監事

陪席者 茶臼教育・研究支援部長、宗近業務管理部長、中條企画・総務課長、田村学生課長、奥田研究協力課長、三原学術情報課長、小林人事課長、河野会計課長、荒井施設課長、辰巳企画・総務課課長補佐、鈴木企画・総務課課長補佐、吉田企画・総務課企画・法規係長、久松企画・総務課企画・法規係員

4. 議 事

（前回議事要旨の確認）

「経営協議会(平成 18 年度第 2 回)議事要旨(案)」について、原案どおり承認された。

（審議事項）

（1）平成19年度年度計画について

議長から、平成19年度年度計画（案）について概要説明が行われ、審議の結果、大筋で承認された。なお、今後、意見等があった場合は、学長に調整を一任し、必要に応じて加筆修正を行った上、文部科学大臣へ届け出ることが了承された。

また、これに関連して、本学の経営戦略等について意見交換が行われた。

主な意見は次のとおり

- ・本学の強みは、情報、バイオ、ナノサイエンスという先端科学技術領域の研究科を擁し、その規模も融合研究を行うのに極めて適していることにある。経営戦略として、本学で学位を取得することのメリット、すなわち融合型研究の企画立案能力及び研究資金獲得能力を修得することができることを社会に発信することが重要ではないか。
- ・社会の動向やトップマネジメントの考え方を肌で身につけるためには、正規の教育課程以外に早い時期から研究室での雑務を経験させることも有効であろう。
- ・学生募集に際して、今年度実施した「NAIST サイエンスオリンピック」のような学生による融合研究プロジェクト実習が正規の教育課程に組み込まれていることを明示してはどうか。このことは融合型研究開発を推進できる人材を求める企業に対しても効果的であろう。

(2) 平成 19 年度予算について

五十嵐理事から、平成 19 年度予算内示について、特別教育研究経費にかかる本学の継続事業 2 件及び新規事業 1 件の内示額等について報告が行われた後、平成 19 年度の本学予算予定額の概要及び予算編成方針について説明が行われ、審議の結果、原案どおり了承された。

(3) 給与規程等の一部改正について

五十嵐理事から、平成 18 年度人事院勧告及び学校教育法の改正に伴う職員給与規程等の一部改正について説明が行われ、審議の結果、原案どおり了承された。

また、国家公務員宿舎法施行令及び同施行規則の一部改正による宿舎使用料激変緩和措置の実施等に伴う宿舎規程の一部改正について説明が行われ、審議の結果、原案どおり了承された。

(報告事項)

(1) 資金の長期運用計画について

五十嵐理事から、教育、研究の財源に資するため、年度繰越が可能な寄附金について、当面は、安全で確実な国債での中長期的運用を図りたい旨の報告が行われた。

(2) 平成 18 事業年度財務諸表（中間決算）について

五十嵐理事から、平成 18 事業年度財務諸表（中間決算）の概要について、対前年比較及び主な増減要因も含めて報告が行われた。

(3) 平成 18 年度補正予算（第 1 号・第 2 号）について

五十嵐理事から、平成 18 年度当初見込みから収入の増及び支出の減があったことに伴う平成 18 年度補正予算（第 1 号）並びに文部科学大臣から剰余金の翌事業年度への繰り越しに係る承認があったこと及び間接経費収入の増があったことに伴う平成 18 年度補正予算（第 2 号）について報告が行われた。

(4) 平成 18 年度外部資金の受入れについて

山本理事から、平成 18 年度外部資金の受入れ状況について、過去 3 年間の外部資金の受入れ件数及び金額の推移と併せて報告が行われた。

なお、今年度の外部資金の受入れ状況は次のとおり。（平成 18 年 3 月 22 日現在）

- ・共同研究 138 件（249,308,925 円）
- ・受託研究 84 件（1,149,162,322 円）
- ・寄附金 100 件（166,477,720 円）

(5) 平成 18 年度ライセンス収入について

山本理事から、平成 18 年度ライセンス収入について、31 件の契約、4,523 万円の収入があり、教員 1 人あたりに換算すれば 21 万円で全国平均を大きく上回っている旨の報告が行われた。

以上